

素晴らしい多彩な作品との出会い!! 舞台では上質なパフォーマンス!!

6月6日、中央公民館ホールに於いて、第6回の文化祭が開催されました。

関東地方も梅雨入りと云うなか、足元が悪いにも拘わらず、150名を超える方々にご参加頂きました。展示部門にあつては、水彩画や水墨画をはじめ、スケッチ画や絵手紙・写真・彫刻・陶芸・漢詩・書道・生け花・俳句など、趣味の領域を超えた多彩な作品に感動しました。また、舞台部門に於いては、其々のジャンルで、上質なパフォーマンスが会場と一体となって進行。民話の会の高齢者施設や小学校・児童館へのボランティア活動の報告も兼ねた「所沢の民話」2題と、野老澤の歴史をたのしむ会の「所沢の駅の不思議」により、所沢の歴史を学びました。スマイル・パイレーツのチアダンスは華やかで、“楽しく生きる力”を感じました。食トコはフードバンク活動と、日本の食品ロスの問題や賞味

期限内食品の有効活用を訴えました。

休憩時間には、生きいきシニア福祉の会の指導により、参加者全員がストレッチ体操でリラックス。とことこバンドの皆さんの演奏には、ところざわ倶楽部の文化祭には欠かせない存在感を感じました。ドラカンの朗読劇「ハムレット」は会場全体が引き込まれる圧巻の演技で、万雷の拍手に包まれました。

フィナーレは、文化祭恒例となりました、懐かしの映画・鑑賞会の同級会音頭や炭坑節と、参加者が一体となって舞台いっぱいに踊った所沢音頭で楽しさの中、幕を閉じました。

これほどの上質な「アクティブシニア」が繰り広げる文化祭のパフォーマンスを、もっと多くの方々に触れて頂かなければ“モッタイナイ”と切に思いました。

(事業部：佐藤 重松)

2018年6月8日

ところざわ倶楽部「広場」

[1]